

4-7 関東地方の GEONET 観測網による地殻変動 (2007 年 5 月～2010 年 5 月) Crustal Movements around Tokai Areas by GEONET GPS Networks (May 2007 May 2010)

防災科学技術研究所
National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

防災科学技術研究所において 1 km メッシュの高分解能気象モデルを運用している，関東地方を中心とした地域の国土地理院 GEONET 観測網による，2007 年 5 月から 2010 年 5 月までの地殻変動を解析した．解析手法は既報¹⁾による．

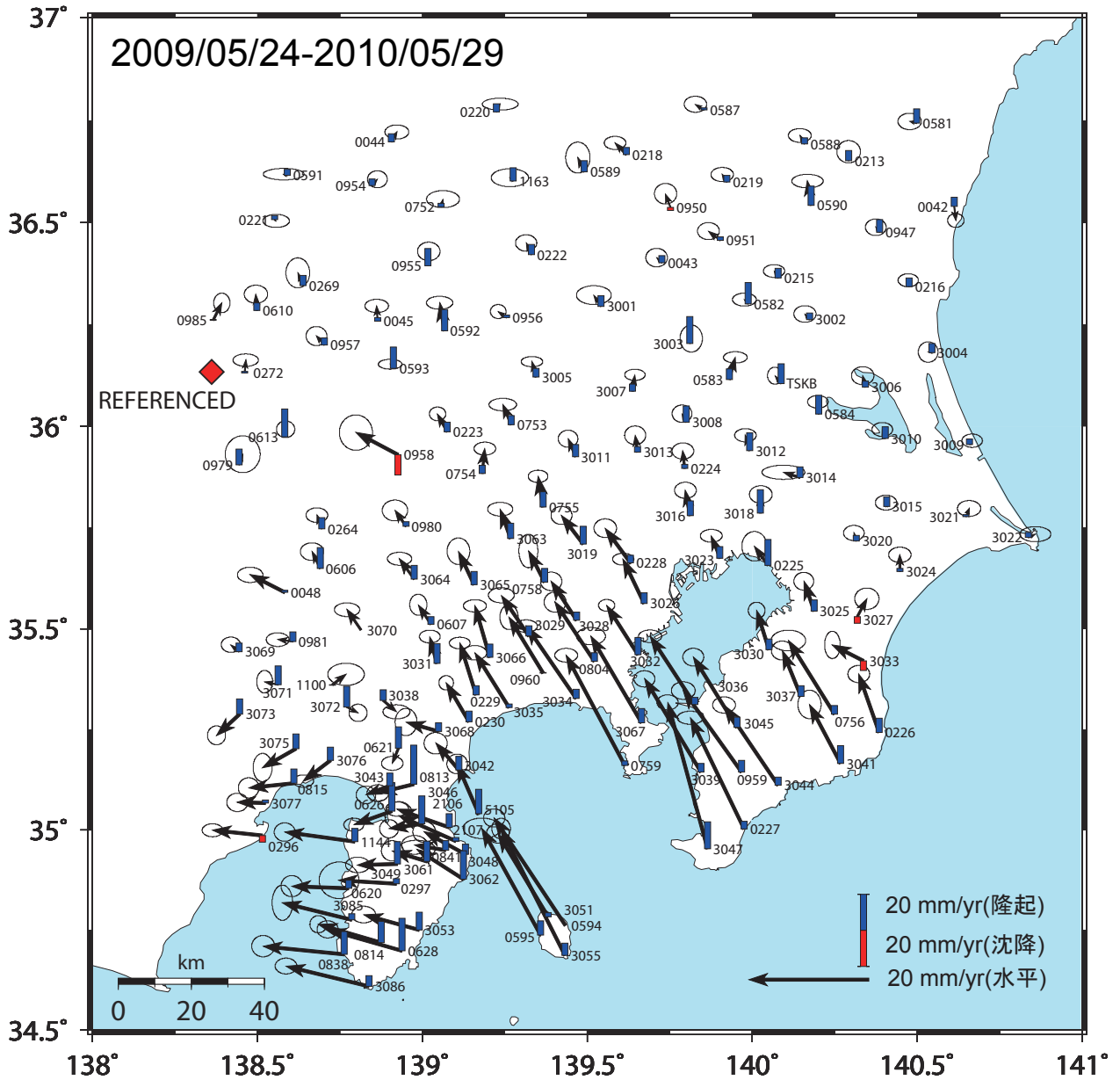
第 1 図は，IGS 臼田観測点 (USUD) に対する関東地方の 2009 年 5 月 24 日から 2010 年 5 月 29 日までの 1 年間の地殻変位速度である．水平成分の誤差楕円は 1σ (67%) の誤差を表す．上下成分の誤差は示していない．富士山周辺の御殿場 (3038 点)，裾野 1 (3072 点)，富士山 (1100 点)，及び富士吉 (3070 点) 等の富士山付近からの放射状のような変動がみられ，富士山の膨張を示しているのかもしれない．

第 2 図に，2007 年 5 月 27 日から 2009 年 11 月 28 日までの，半年ずつずらせた 1 年間ずつの地殻変位速度を示した．

(島田誠一)

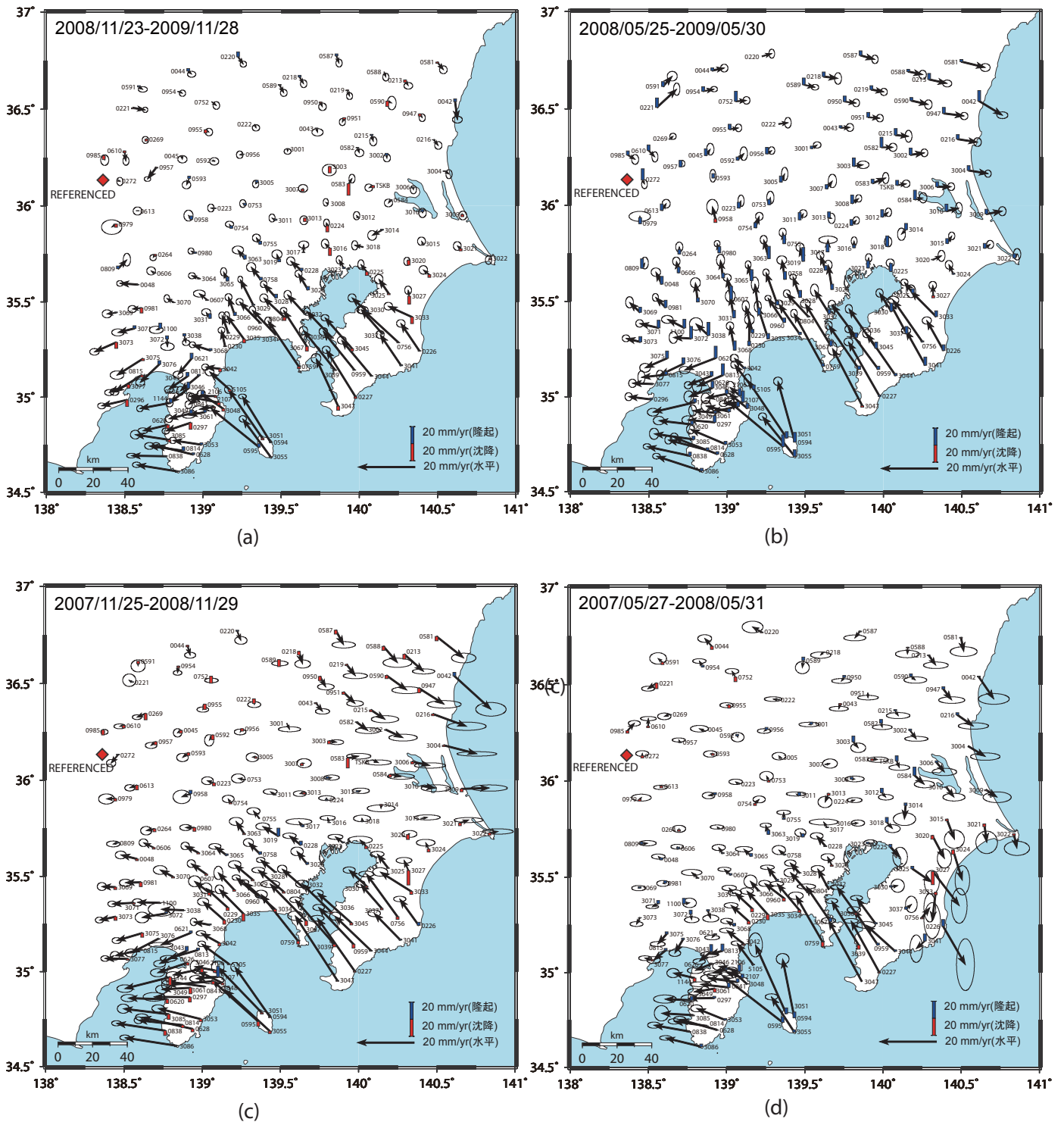
参 考 文 献

- 1) 防災科学技術研究所:関東地方の GEONET 観測網による地殻変動(2006 年 5 月～2009 年 5 月), 連絡会報, 82 (2009), 187-190.



第1図 白田観測点に対する関東地方の2009年5月24日から2010年5月29日までの1年間の地殻変位速度。水平成分の誤差楕円は 1σ (67%)の誤差を示す。

Fig. 1 Velocity fields around Kanto area relative to the USUD site during 1 year between 2009/5/24-2010/5/29. Horizontal error ellipse indicates 67% confidential level.



第2図 白田観測点に対する関東地方の2007年5月27日から2009年11月28日までの、半年ずつずらせた1年間ずつの地殻変位速度。水平成分の誤差楕円は1 σ (67%)の誤差を示す。

Fig. 2 Velocity fields around Kanto area relative to the USUD site during 1 year between (a)2008/11/23-2009/11/28, (b)2008/5/25-2009/5/30, (c)2007/11/25-2008/11/29, and (d)2007/5/27-2008/5/31. Horizontal error ellipse indicates 67% confidential level.